



## 2019年3月期 第2四半期決算短信(米国基準)(連結)

2018年10月31日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス  
 コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安原 弘展  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 宮城 晃  
 四半期報告書提出予定日 2018年11月9日 配当支払開始予定日 2018年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 075-682-1010

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	101,815	0.2	8,994	5.4	16,311	48.2	11,391	53.2
2018年3月期第2四半期	101,976	0.4	9,511	29.2	11,005	7.4	7,437	19.2

(注)四半期包括利益 2019年3月期第2四半期 11,759百万円 ( 7.1%) 2018年3月期第2四半期 12,651百万円 ( %)

2018年3月期第2四半期の四半期連結損益計算書について、会計方針の変更に基づく組み替えを行っております。詳細については、添付資料の9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	170.35	169.73
2018年3月期第2四半期	108.88	108.53

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益」及び「希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	309,986	243,685	239,091	77.1	3,607.35
2018年3月期	298,534	237,497	232,712	78.0	3,454.40

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		18.00		36.00	
2019年3月期		36.00			
2019年3月期(予想)				36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の2018年3月期の1株当たり期末配当金は18円となり、1株当たり年間配当金は36円となります。

### 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	200,000	2.2	10,000	13.0	13,000	9.0	10,000	2.6	円 銭 149.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

(注) 詳細については、添付資料の9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	70,689,042 株	2018年3月期	71,689,042 株
2019年3月期2Q	4,410,145 株	2018年3月期	4,322,121 株
2019年3月期2Q	66,866,299 株	2018年3月期2Q	68,303,670 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書	P. 7
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 7
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(会計方針の変更)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10
(6) 販売の状況	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

## ①当第2四半期の業績

当社は、現在の中期（3カ年）経営計画の最終年度となる当期において、事業効率を高めるための基盤整備の完了や、成長が期待できる領域への投資に取り組んでいます。国内事業では、組織再編によって、卸売事業の連携強化と生産性向上を一層追求します。加えて小売事業の収益性改善にさらに踏み込んで取り組むほか、オムニチャネルサービスのオペレーション基盤の構築を完了し、段階的な運用を開始します。海外事業では、自社ECの展開国拡大、他社ECにおける通常価格での販売強化と並行して、百貨店、直営店でのサービス向上を進めています。中国・ASEANの商品供給拠点では、品質・コストともに競争優位性の高い無縫製商品を生産する体制の整備に取り組んでいます。

当第2四半期連結累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）における連結売上高は、前年同期並みとなりました。国内事業は、主力の卸売事業で百貨店や量販店の夏場における店頭販売額が落ち込んだ結果、減収となりました。海外事業は、中国の販売が好調で、邦貨換算後の売上高が前年同期に比べ16%増加したことがけん引し、増収となりました。ピーチ・ジョン事業は減収、その他事業は前年同期を上回りました。

連結営業利益は、前年同期に比べ5%減少しました。国内事業は、組織体制の改編等によって事業効率の改善が進んでおり、売上利益率の改善と販管費の削減を果たしました。しかしながら、前年同期に計上した子会社の工場用地退去に伴う補償金収入による一時的な増益の裏返しもあり、前年同期を下回る結果となりました。海外事業は、増収に伴って増益となりました。ピーチ・ジョン事業・その他事業は事業効率の低下により、ともに減益となりました。

連結税引前四半期純利益は、会計方針の変更（9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（5）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」）に伴い、持分証券の評価益56億60百万円を計上したことから、前年同期比48%の増加となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の主要な為替換算レートは、1米ドル=110.26円、1英ポンド=146.91円、1中国元=17.09円です。

●売上高	1,018億15百万円	（前年同期比	0.2%減）
●営業利益	89億94百万円	（前年同期比	5.4%減）
●税引前四半期純利益	163億11百万円	（前年同期比	48.2%増）
●当社株主に帰属する四半期純利益	113億91百万円	（前年同期比	53.2%増）

## ②オペレーティング・セグメントの営業概況

## a. ワコール事業（国内）

株式会社ワコールでは、卸売事業の連携強化と生産性の向上をねらいに、従前のワコールブランド事業本部、チェーンストア事業本部、ウエルネス事業部を、当期から「卸売事業本部」に再編し、小売事業者向けの営業を一元化しています。

卸売事業本部の売上高は、前年同期に比べ4%の減少となりました。台風等の自然災害や酷暑の影響のほか、百貨店での高級ラインの販売苦戦、量販店での夏場の売上低迷による在庫調整などが影響する結果となりました。なお、ブラジャーの店頭販売額については、「ワコール」ブランドは自社ECの伸びが寄与したこともあり前年同期並み、「ウイング」ブランドは夏の主力商品が不調に終わったことから前年同期に比べ3%の減少となり、両ブランドの合計で1%下回りました。

小売事業本部の売上高は、前年同期比1%の増加となりました。直営店を横断展開するブラジャー「BRAGENIC（ブラジェニック）」は好調を維持し倍増したものの、セール販売の規模縮小や自然災害による営業日数の減少などが影響しました。

このほか、株式会社Ai（アイ）の売上高は、若年層の需要減少、低価格帯の新規メーカー参入による競争激化といった水着市場の変化を受けて、最需要期の第2四半期に大きく苦戦を強いられた結果、前年同期に比べ22%の減少となりました。

以上の結果などから、当該セグメントの売上高は前年同期に比べ3%の減少となりました。

営業利益は、前年同期に比べ5%の減少となりました。卸売事業、小売事業ともに経営効率を高める取り組みを進め、株式会社ワコールは売上利益率の改善と営業利益率の向上によって増益となりましたが、前年同期に子会社工場用地の退去に伴う補償金収入を計上した一時的な増益影響があったことから、前年同期を上回るに至りませんでした。

●売上高	585億85百万円	(前年同期比	3.0%減)
●営業利益	49億64百万円	(前年同期比	5.3%減)

#### b. ワコール事業 (海外)

ワコールインターナショナル (米国) の現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ2%減少しました。EC 販売は9%増加しましたが、百貨店 (実店舗) の店頭販売額が8%減少しました。加えて、一部百貨店の経営破たんによる閉店や前年同期に取り扱い百貨店の店舗数の増加に伴う初回納品の上乗せがあったことの反動が影響しました。

現地通貨ベースの営業利益は、販管費を抑制しましたが、減収に伴い前年同期に比べ9%の減少となりました。

ワコールヨーロッパの現地通貨ベース (英ポンド) の売上高は、前年同期に比べ2%の増加となりました。主軸の英国・米国では、百貨店と他社ECが順調で、それぞれ8%、4%増加しました。豊満体型女性向けブランド「elomi (エロミ)」は下着・水着合わせて20%増加となり、引き続き、全体をけん引しました。

現地通貨ベースの営業利益は、増収効果に加えて、セール販売の縮小や英国での希望小売価格の見直しなどによる売上利益率改善が寄与し、前年同期に比べ27%の増加となりました。

中国ワコールの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ11%増加しました。春節、婦人節などの需要期の販促強化が奏功し購買客数が増加した結果、百貨店の店頭販売額は4%の増加となりました。また他社ECを通じた売上高は、同じく需要期の販売プロモーションが好調だったことなどから54%伸長しました。

現地通貨ベースの営業利益は、EC売上と「ワコール」ブランド売上の比率が高まったことで売上利益率が改善し、前年同期に比べ51%の増加となりました。

これらの結果、邦貨換算後の当該セグメントの売上高、営業利益は、ともに前年同期を上回りました。

●売上高	288億21百万円	(前年同期比	3.9%増)
●営業利益	38億41百万円	(前年同期比	7.6%増)

#### c. ピーチ・ジョン事業

プロガーとの取り組み強化などによって認知拡大が進んだ台湾が前年同期に比べ45%の増加となった一方で、国内は通販事業がSNS 広告の強化から1%の増加に転じたものの、引き続き、店舗事業が苦戦した結果、当該セグメントの売上高は、前年同期を2%下回る結果となりました。

営業利益は、国内での減収影響に加え、中国事業の伸び率鈍化と他社EC 広告費等の増加が響き、前年同期に比べ54%減少しました。

●売上高	54億70百万円	(前年同期比	1.6%減)
●営業利益	1億82百万円	(前年同期比	53.8%減)

#### d. その他

ルシアンは売上高は、前年同期に比べ15%の減少となりました。主力の内ナーウェア事業が大手量販店向けPBの採用品番数の縮小などにより受注が減少し前年同期を16%下回ったほか、マテリアル事業、アート・ホビー事業、アパレル事業ともに振るいませんでした。

七彩の売上高は、前年同期に比べ33%の増加となりました。第1四半期に工事を完了した大手百貨店の本店改装などによって、工事業は前年同期に比べ49%増加し、物販事業も30%増加しました。

これらの結果から、当該セグメントの売上高は前年同期に比べ8%の増加となりました。

営業利益は、ルシアンが減収の影響から営業損失となったことに加えて、七彩が増収したものの工事業比率の高まりから売上利益率が低下したことを受けて、98%の減少となりました。

●売上高	89億39百万円	(前年同期比	8.4%増)
●営業利益	7百万円	(前年同期比	97.7%減)

## (2) 連結財政状態に関する説明

### ① 資産、負債、株主資本等の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、時価上昇による投資の増加や返品資産の計上などにより、前連結会計年度末に比して114億52百万円増加し、3,099億86百万円となりました。

負債の部は、繰延税金負債の増加や返金負債の計上などにより、前連結会計年度末に比して52億64百万円増加し、663億1百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比して63億79百万円増加し、2,390億91百万円となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.9%減少し、77.1%となりました。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して51百万円減少し、294億36百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益114億72百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、79億74百万円の収入(前年同期に比し5億25百万円の収入減)となりました。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、持分証券の売却などによる収入に対して、定期預金の増加や有形及び無形固定資産の取得による支出が上回り、27億3百万円の支出(前年同期に比し13億8百万円の支出減)となりました。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や自己株式の取得などにより、59億78百万円の支出(前年同期に比し13億22百万円の支出減)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2018年5月15日に公表した連結業績予想から変更ありません。また、持分証券の評価損益による変動影響は、連結業績予想には織り込んでおりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	29,487	29,436	△ 51
定期預金	4,296	5,688	1,392
有価証券	1,567	1,220	△ 347
売掛債権	25,873	27,016	1,143
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,459	△ 211	2,248
たな卸資産	42,676	42,432	△ 244
返品資産	—	1,363	1,363
その他の流動資産	4,372	5,259	887
流動資産合計	105,812	112,203	6,391
II. 有形固定資産			
土地	21,561	21,578	17
建物及び構築物	73,618	73,928	310
機械装置及び工具器具備品等	18,268	18,875	607
建設仮勘定	254	184	△ 70
	113,701	114,565	864
減価償却累計額	△ 59,368	△ 60,840	△ 1,472
有形固定資産合計	54,333	53,725	△ 608
III. その他の資産			
関連会社投資	22,512	21,671	△ 841
投資	69,318	75,282	5,964
のれん	16,594	16,562	△ 32
その他の無形固定資産	12,859	13,121	262
前払年金費用	10,178	10,437	259
繰延税金資産	1,194	1,243	49
その他	5,734	5,742	8
その他の資産合計	138,389	144,058	5,669
資産合計	298,534	309,986	11,452

科 目	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	7,104	7,265	161
買掛債務			
支払手形	1,174	1,271	97
買掛金	11,393	10,856	△ 537
未払金	7,053	5,008	△ 2,045
	<u>19,620</u>	<u>17,135</u>	<u>△ 2,485</u>
未払給料及び賞与	7,213	6,908	△ 305
未払税金	1,979	3,182	1,203
返金負債	—	3,781	3,781
その他の流動負債	3,716	4,922	1,206
流動負債合計	39,632	43,193	3,561
II. 固定負債			
退職給付に係る負債	1,852	1,840	△ 12
繰延税金負債	17,231	19,014	1,783
その他の固定負債	2,322	2,254	△ 68
固定負債合計	21,405	23,108	1,703
負債合計	61,037	66,301	5,264
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,765	29,796	31
III. 利益剰余金	172,418	206,587	34,169
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	2,274	2,744	470
未実現有価証券評価損益	27,424	—	△ 27,424
年金債務調整勘定	△ 1,101	△ 1,099	2
V. 自己株式	△ 11,328	△ 12,197	△ 869
株主資本合計	232,712	239,091	6,379
VI. 非支配持分	4,785	4,594	△ 191
資本合計	237,497	243,685	6,188
負債及び資本合計	298,534	309,986	11,452



## (2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年 4月 1日 至 2017年 9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年 9月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	101,976	100.0	101,815	100.0	△ 161
II. 営業費用					
売上原価	47,067	46.2	46,330	45.5	△ 737
販売費及び一般管理費	46,106	45.2	46,491	45.7	385
補償金収入	△ 708	△ 0.7	—		708
営業費用合計	92,465	90.7	92,821	91.2	356
営業利益	9,511	9.3	8,994	8.8	△ 517
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	89		125		36
支払利息	△ 10		△ 10		0
受取配当金	772		811		39
有価証券・投資売却 及び交換損益(純額)	44		140		96
有価証券・投資評価損益(純額)	2		5,660		5,658
その他の損益(純額)	597		591		△ 6
その他の収益・費用合計	1,494	1.5	7,317	7.2	5,823
税引前四半期純利益	11,005	10.8	16,311	16.0	5,306
法人税等	3,973	3.9	5,185	5.1	1,212
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	7,032	6.9	11,126	10.9	4,094
持分法による投資損益	429	0.4	346	0.4	△ 83
四半期純利益	7,461	7.3	11,472	11.3	4,011
非支配持分帰属損益	△ 24	△ 0.0	△ 81	△ 0.1	△ 57
当社株主に帰属する四半期純利益	7,437	7.3	11,391	11.2	3,954

## (3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年 4月 1日 至 2017年 9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年 4月 1日 至 2018年 9月30日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	7,461		11,472		4,011
II. その他の包括損益 — 税効果調整後					
為替換算調整勘定	1,653		389		△ 1,264
未実現有価証券評価損益	3,663		△ 104		△ 3,767
年金債務調整勘定	△ 126		2		128
その他の包括損益 合計	5,190		287		△ 4,903
四半期包括損益	12,651		11,759		△ 892
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 9		0		9
当社株主に帰属する四半期包括損益	12,642		11,759		△ 883

## (4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2017年 4月 1日 至 2017年 9月30日)	(自 2018年 4月 1日 至 2018年 9月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	7,461	11,472
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	2,676	2,752
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金(純額)	287	△ 2,278
(3)繰延税金	△ 3	1,642
(4)固定資産除売却損益(純額)	56	△ 1
(5)補償金収入	△ 708	-
(6)有価証券・投資売却及び交換損益(純額)	△ 44	△ 140
(7)有価証券・投資評価損益(純額)	△ 2	△ 5,660
(8)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	43	136
(9)資産及び負債の増減		
売掛債権の増加	△ 1,269	△ 1,064
たな卸資産の減少(△増加)	△ 134	373
返品資産の増加	-	△ 1,363
その他の流動資産等の減少(△増加)	374	△ 891
買掛債務の減少	△ 1,425	△ 2,445
返金負債の増加	-	3,758
退職給付に係る負債の減少	△ 473	△ 263
その他の負債等の増加	1,594	1,988
(10)その他	66	△ 42
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,499	7,974
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 4,133	△ 4,094
2. 定期預金の減少額	2,199	2,986
3. 持分証券の売却及び償還収入	59	882
4. 持分証券の取得	△ 10	△ 12
5. 負債証券の償還収入	346	341
6. 負債証券の取得	△ 576	△ 333
7. 有形固定資産の売却収入	129	33
8. 補償金収入	708	-
9. 有形固定資産の取得	△ 1,876	△ 1,036
10. 無形固定資産の取得	△ 859	△ 1,480
11. その他	2	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,011	△ 2,703
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	△ 228	163
2. 長期債務の返済	△ 23	△ 25
3. 自己株式の取得	△ 2,001	△ 3,500
4. 当社株主への配当金支払額	△ 4,940	△ 2,425
5. 非支配持分への配当金支払額	△ 194	△ 191
6. その他	86	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,300	△ 5,978
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	156	656
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 2,656	△ 51
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	33,995	29,487
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	31,339	29,436

## 補足情報

現金支払額		
利息	10	10
法人税等	3,208	2,615
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	522	397

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

① 収益認識

当連結会計年度より、顧客との契約から生じる収益に関する規定（ASU2014-09、2016-12）を適用しております。この規定は、企業が顧客との契約で引き渡した財またはサービスとの交換で得られると見込まれる金額を収益として認識することを要求するものです。この規定が当社グループの財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローに与える影響は軽微であります。なお、この規定の適用により、前連結会計年度まで流動資産の「返品調整引当金及び貸倒引当金」に含めて表示していた返品に係る負債について、当連結会計年度より流動負債の「返金負債」として計上するとともに、返品される商品を回収する権利を流動資産の「返品資産」に計上しております。

② 金融商品の認識と測定

当連結会計年度より、金融商品の認識と測定に関する規定（ASU2016-01、2018-03）を適用しております。この規定は、持分証券（持分法投資及び連結される投資を除く）を公正価値で評価し、その変動を純損益において認識することを要求するものです。この規定の適用により、2018年3月期においてその他の包括損益累計額として認識していた持分証券に係る税効果調整後の未実現利益 27,320 百万円と、これまで取得原価で評価していた市場性のない持分証券に係る税効果調整後の未実現利益 514 百万円を、期首の利益剰余金への累積影響額として調整しております。

③ 期間年金費用

当連結会計年度より、期間年金費用及び期間退職後給付費用の表示に関する規定（ASU2017-07）を適用しております。この規定は、期間年金費用及び期間退職後給付費用のうち勤務費用以外の構成要素をその他の収益・費用として計上することを要求するものです。また、この規定は遡及適用されます。この規定の適用により、前第2四半期連結累計期間において、営業費用から 581 百万円をその他の損益（純額）に組み替えております。この結果、前第2四半期連結累計期間の営業利益が、組み替え前に対して 581 百万円減少しております。

## (セグメント情報等)

## ① オペレーティング・セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業(国内)	ワコール事業(海外)	ピーチ・ジョン事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	60,427	27,744	5,559	8,246	101,976	—	101,976
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	558	5,575	691	2,591	9,415	△ 9,415	—
計	60,985	33,319	6,250	10,837	111,391	△ 9,415	101,976
営業利益	5,240	3,569	394	308	9,511	—	9,511

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業(国内)	ワコール事業(海外)	ピーチ・ジョン事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	58,585	28,821	5,470	8,939	101,815	—	101,815
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	473	5,377	665	2,595	9,110	△ 9,110	—
計	59,058	34,198	6,135	11,534	110,925	△ 9,110	101,815
営業利益	4,964	3,841	182	7	8,994	—	8,994

(注) 各事業の主な製品

- ワコール事業(国内) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レックニット他
- ワコール事業(海外) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維関連商品他
- ピーチ・ジョン事業 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
- その他 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マキシン人形、店舗設計・施工他

## ② 地域別情報

前第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	73,946	10,572	17,458	101,976
構成比	72.5%	10.4%	17.1%	100.0%
営業利益	5,820	1,100	2,591	9,511

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	72,619	11,779	17,417	101,815
構成比	71.3%	11.6%	17.1%	100.0%
営業利益	5,185	1,164	2,645	8,994

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

## (6) 販売の状況

製品の種類		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
		自2017年4月1日 至2017年9月30日		自2018年4月1日 至2018年9月30日			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
インナーウェア	ファンデーション・ランジェリー	77,203	75.7	77,052	75.7	△151	△0.2
	ナイトウェア	4,403	4.3	4,216	4.1	△187	△4.2
	リトルインナー	742	0.7	676	0.7	△66	△8.9
	計	82,348	80.7	81,944	80.5	△404	△0.5
アウターウェア・スポーツウェア等		9,289	9.1	8,181	8.0	△1,108	△11.9
レッグニット		987	1.0	895	0.9	△92	△9.3
その他繊維製品及び関連製品		4,240	4.2	4,705	4.6	465	11.0
その他		5,112	5.0	6,090	6.0	978	19.1
合計		101,976	100.0	101,815	100.0	△161	△0.2